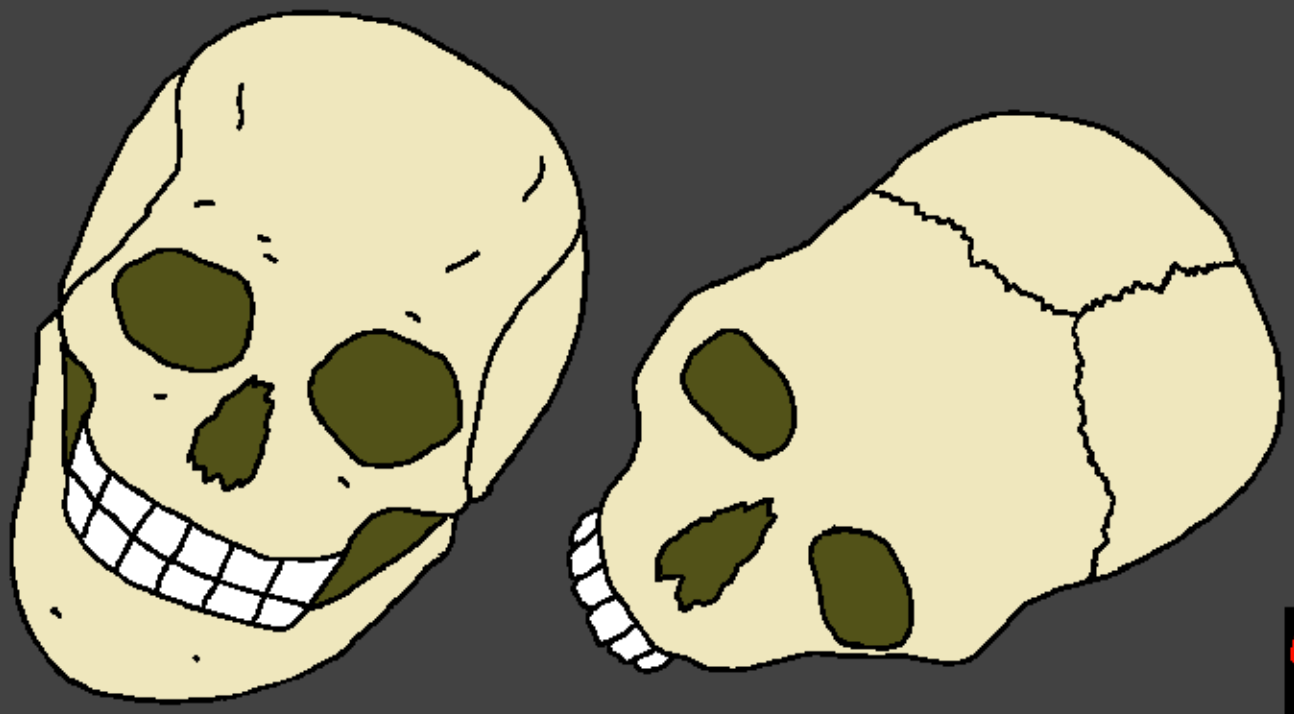
こども
子供のインターネットバイブル
あんない
案内いたします

まぼろしを見る人、エゼキエル



文(ぶん)：Edward Hughes

絵(え)：Lazarus, Alastair Paterson

改作者(かいさくしゃ)：Ruth Klassen

翻訳者(ほんやくしゃ)：Yuko Kajiki
監修者：Dan Ellrick

出版社(しゅっぱんしゃ)：Bible for Children
www.M1914.org

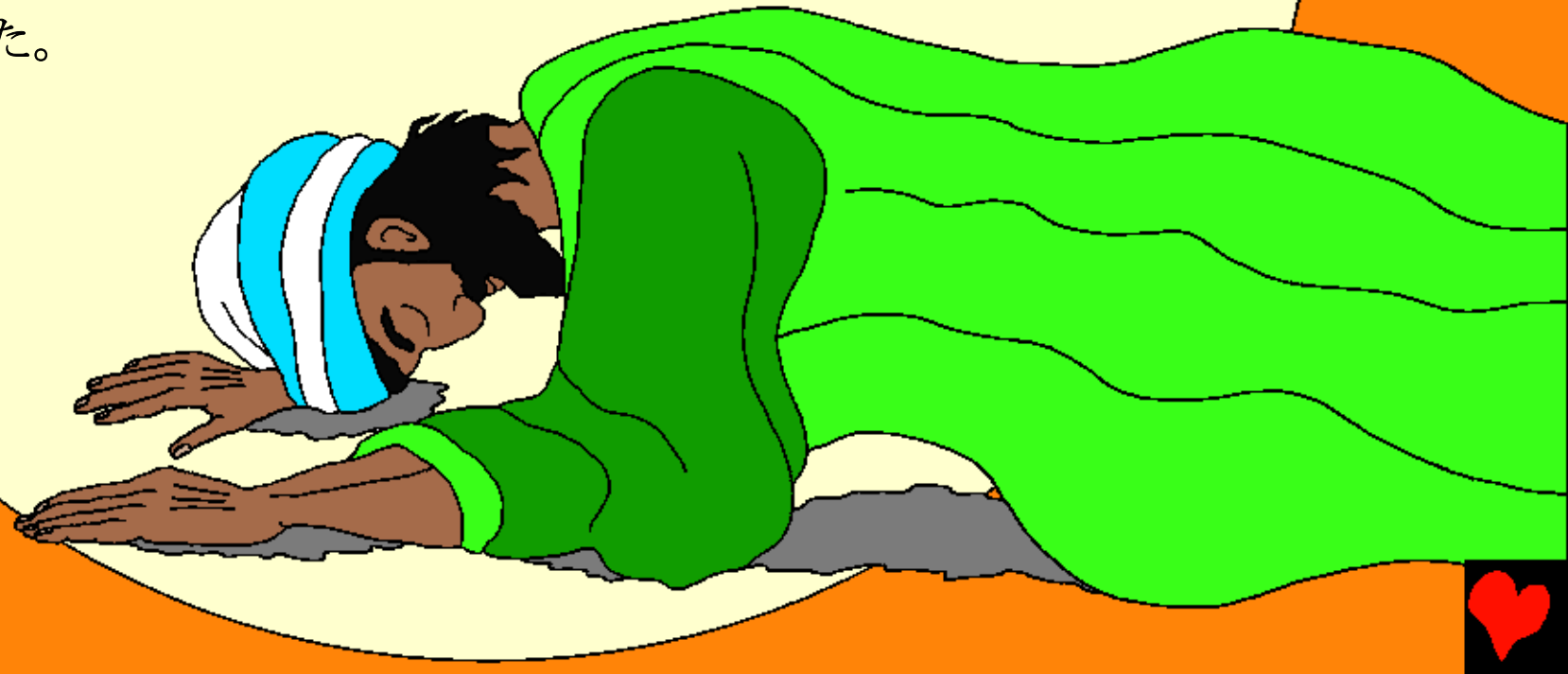
©2021 Bible for Children, Inc.

許可(きょか)：　他人(たにん)に売(う)らない限(かぎ)り　このお話(はなし)のコピー、又(また)はプリントは、
許可(きょか)されています。

ずっと昔、とても強い軍たいがユダを攻めてきました。その軍たいは、たくさんの神さまの民をつかまえ、バビロンへもどって行ったのです。

とらわれ人となって、バビロンへつれて行かれたユダの人々は、自分のふるさとから、とおくとおくはなれたケバル川のほとりに、住むようになりました。かれらの中に、神さまのしもべ、よげん者エゼキエルがいましたよ。

ある日、神さまはエゼキエルに、まぼろしを見せられました。
そこでは、神さまの栄光が、４人のようせいたちのすがたとなって、光りかがやいていました。そのようせいたち一人一人は、それぞれに４つのかおと、４まいのはねを持っています。ようせいたちの上には、うつくしいサファイアの王さまのイスがありました。まばゆい 光 が、あふれるようにふりそそぎ、それはまるで、もえる虹のよう。エゼキエルは、あまりのかがやきに、思わず下をむいてしまいました。



神さまは、エゼキエルに言われました。「わたしはあなたを、イスラエルのこどもたちのところへ送ろう。かれらに、わたしのことばを伝えるのだ。かれらは、もうわたしの手に負えなくなってきた。」あれ、とつぜんまきものを持った手が、あらわれました。

「エゼキエル、このまきものを食べなさい！」

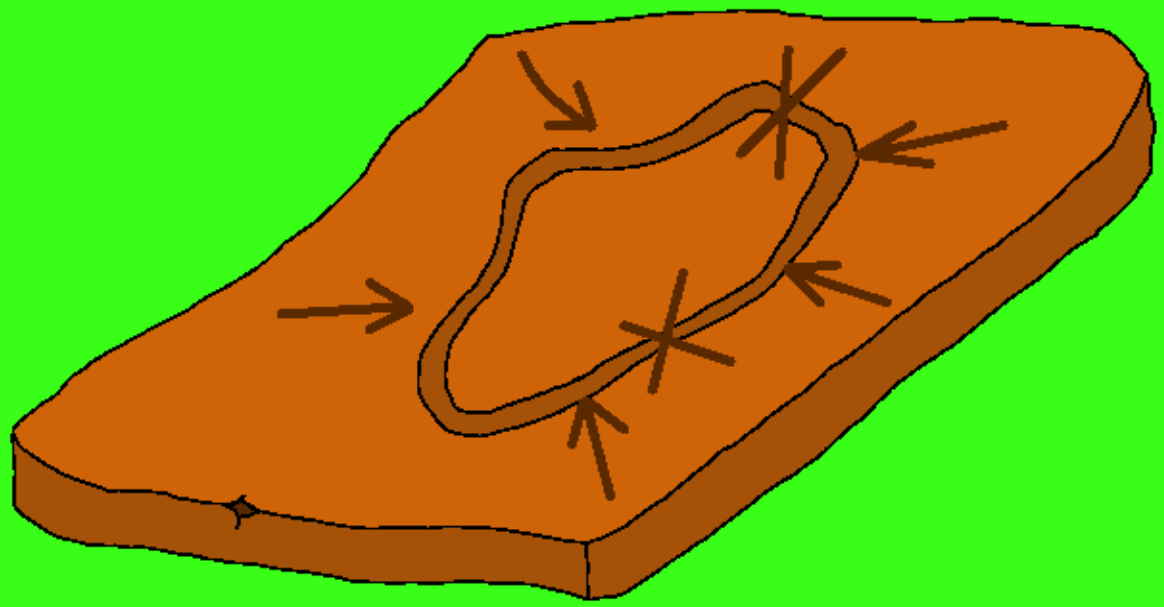
つづいて、また声が聞こえました。「さあ、行け！イスラエルの民のところに行き、わたしのことばを伝えるのだ！」なんてへんなめいれいでしょうか。

でもね、エゼキエルは、ちゃんとめいれいどおり、まきものを食べて、出かけました。

エゼキエルは、神さまのれいに引き上げられ、とらえ人となったユダヤ人が住んでいるケバル川のもう一つの所に、つれていかれましたよ。

そこで、７日間、ユダヤ人たちのそばにいて、かれらのようすを見ていたエゼキエルは、かれらが、ひどいことばかりしているのでほんとうにおどろいてしまいました。

神さまは、エゼキエルに言われました。「この地で見はりばんになるように。」それから、エゼキエルは、悪いことをしている人々に、「神さまにしたがわないことは、もうやめよう！」と注意するようになりました。

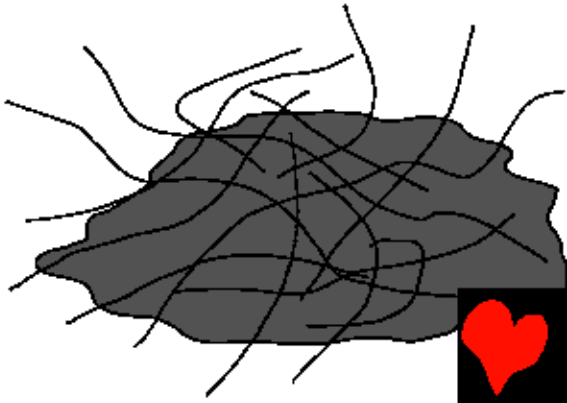


エゼキエルは、人々に神さまのことばを、はっきりとわからせるため、いろいろな変わったことをしました。たとえばね、かれはエルサレムの絵を、土のタイルのかけらに、ひっかいて描きました。その絵は、たくさんの兵士たちが、エルサレムのまわりを囲んでいる絵でしたよ。たぶん、みんなそこにあつまって、かれのうしろから、その絵を見ていたことでしょうね。エゼキエルは、神さまの聖なる町が、もうすぐほろぼされてしまうだろうと、みんなに伝えました。

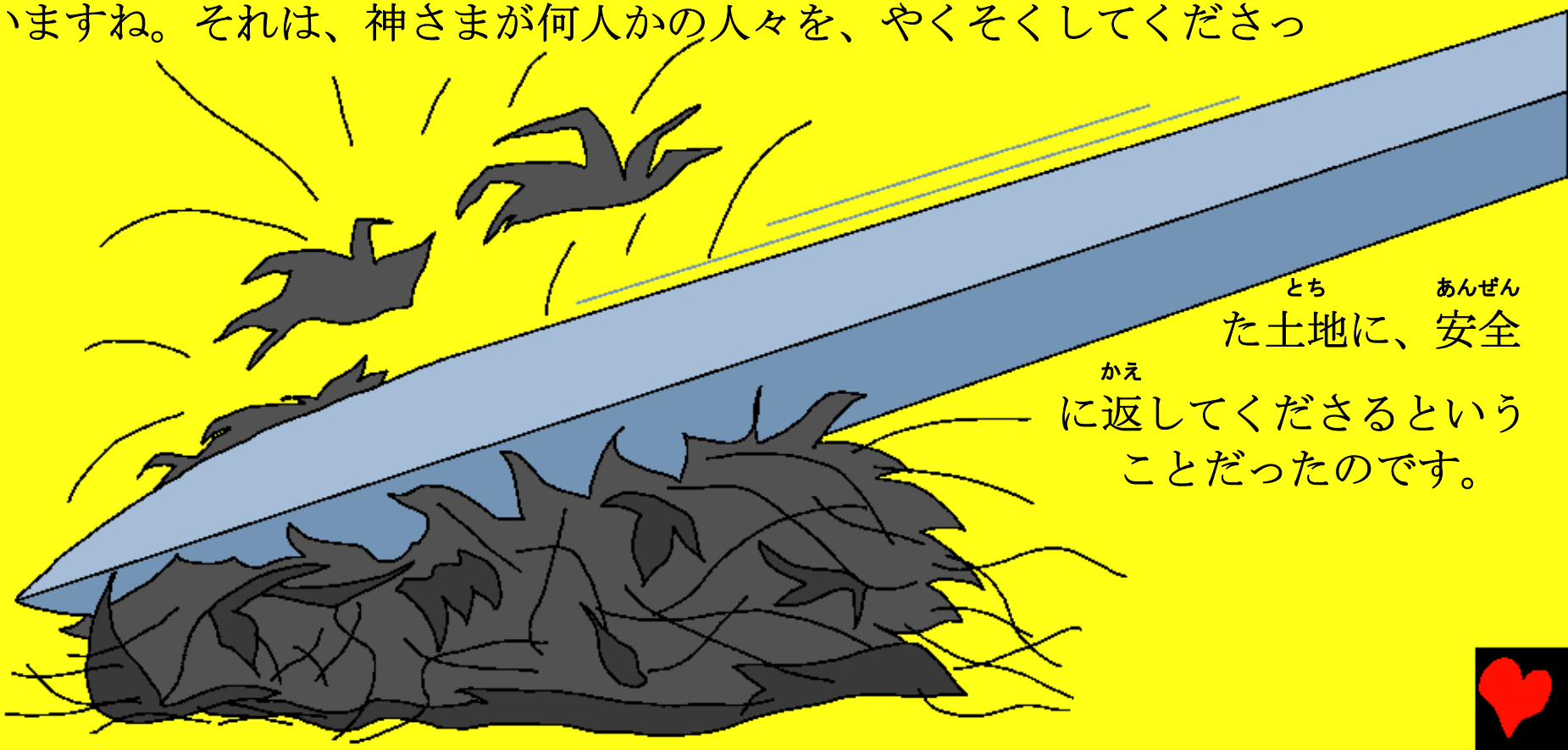
北の王国イスラエルは、３９０年ものあいだ、神さまにしたがいませんでした。
そして南の王国ユダは、４０年のあいだ、したがわなかったのです。そんなに
長いあいだ、したがわなかったから、イスラエルの国は、ほろぼされてしまった
のですね。そして、ユダの国も今また、なくなってしまいそうですよ。そこで、
神さまはエゼキエルに言われました。

「さあ、からだの左がわを下にして、３９０日のあいだ、横むきになったままでいなさい。それから、こんどは右がわを下にして、４０日のあいだ、同じようにしなさい。」それは人々に、罪をおかした年のかずを、思い出させるためだったのです。

たぶん、人々ははじめ、こう思ったことでしょう。エゼキエルって、なんてへんな人なのだろうって。でもね、エゼキエルは、ただ神さまが言われるとおりに、すべてを行っただけなんです。ある日、エゼキエルは、自分のかみの毛をそりおとし、その三分の一をやいてしまいました。これは、バビロンの軍たいが、せめてきたとき、エルサレムに住んでいる人々の三分の一が、病気になったり、または食べるものがなくなって、死んでしまうだろうということでした。

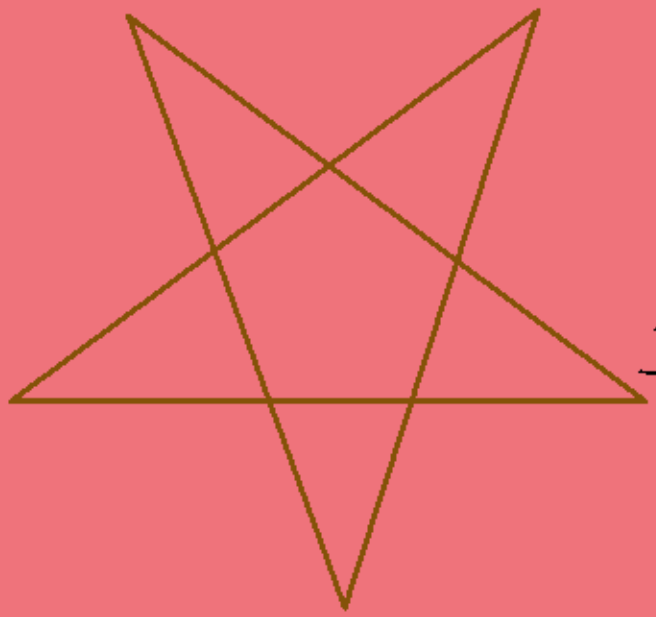


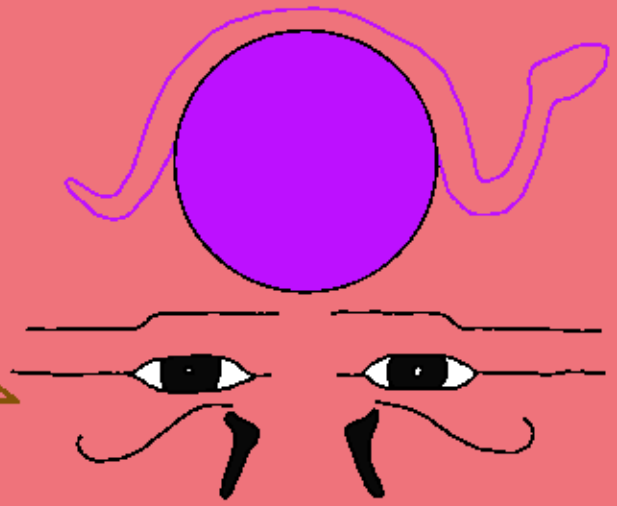
つぎに、エゼキエルは、また自分のかみの毛の三分の一をとり、それをかれの剣で、こまかくきざみました。それは三分の一の人々が、てきの軍たいの剣で、死んでしまうだろうということでした。さて、エゼキエルは、さいごにのこった三分の一のかみの毛を、風に吹きとばしましたよ。あれあれ、かれは、そこから何本かのかみの毛を取って、自分のうわ着のすそのところに、ぬいこんでいますね。それは、神さまが何人かの人々を、やくそくしてくださった土地に、安全に返してくださるということだったのです。

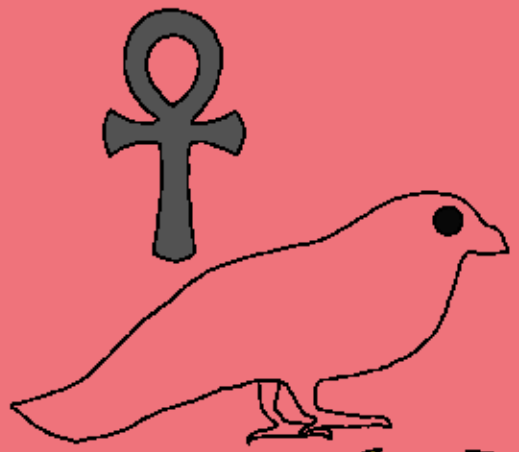


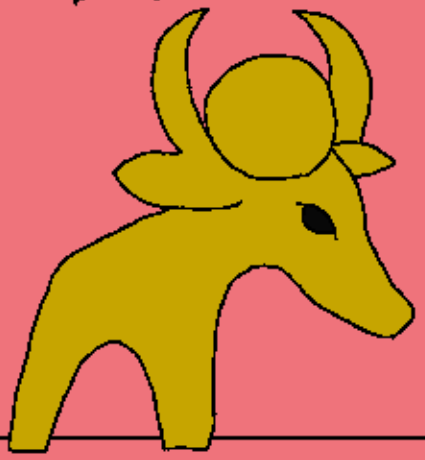
このゆう気あるよげん者エゼキエルは、とらわれ人となっているユダヤ人に言いました。「みんな、聞いてくれ！これからは、もっと悪くなっていくんだ！みんながねがっているように、よくならないんだよ。」これを聞いた人々は、カンカンに怒りました。でもね、エゼキエルは、神さまのことばを話しつづけました。ある日、エゼキエルが、イスラエルの老人たちといっしょにすわっていると、神さまが、エゼキエルにまぼろしを見せられましたよ。このまぼろしの中で、神さまは、エゼキエルをかれのかみの毛で持ち上げられ、エルサレムの神でんまで、はこばれました。

神(しん)でんの中(なか)で、神(かみ)さまはエゼキエルに、ぞーっとするような汚(けが)れたけだものや、ぐう像(ぞう)などを見(み)せられました。これらのものは、ぜったいに神(しん)でんの中(なか)に、おいてはいけないものでした。

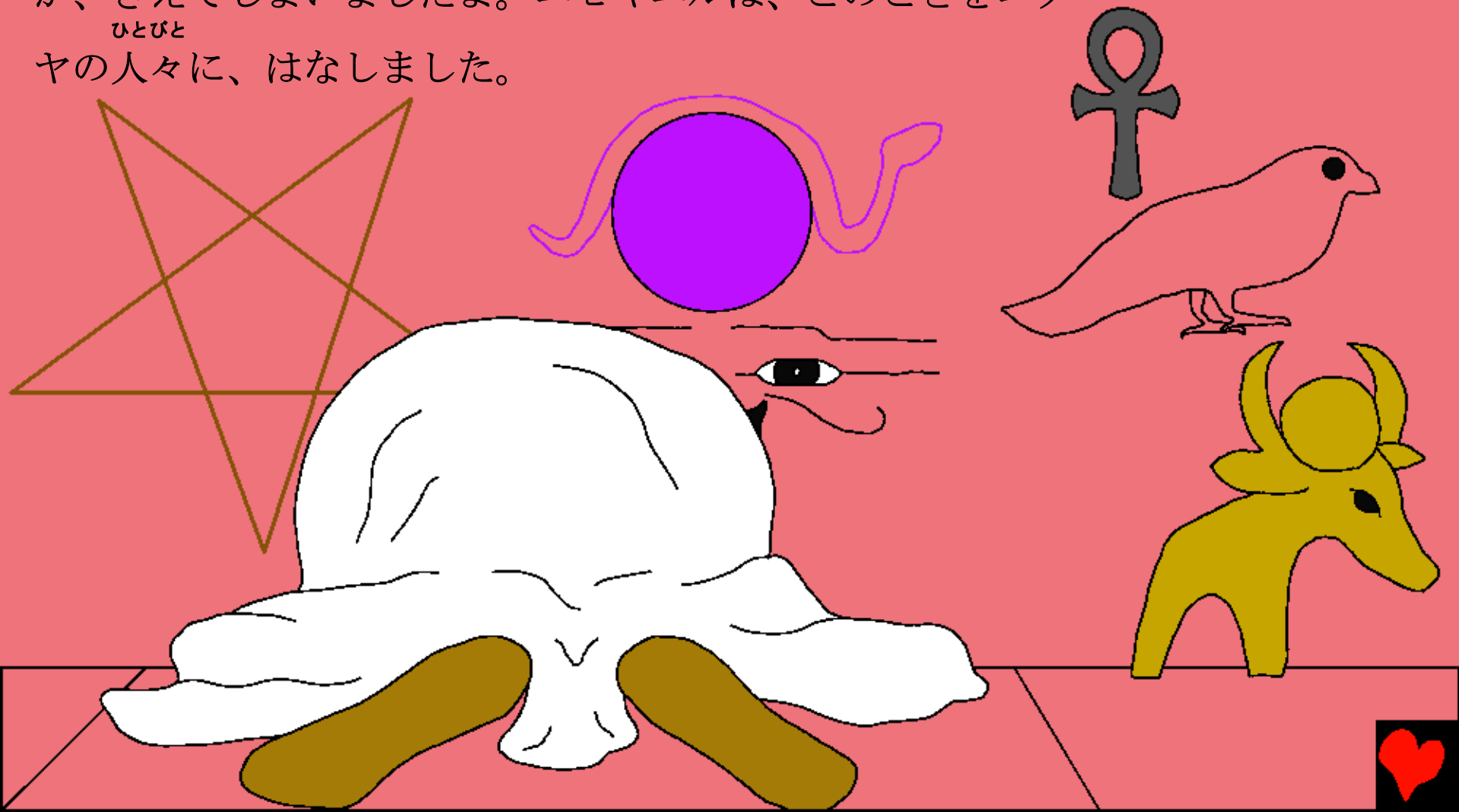


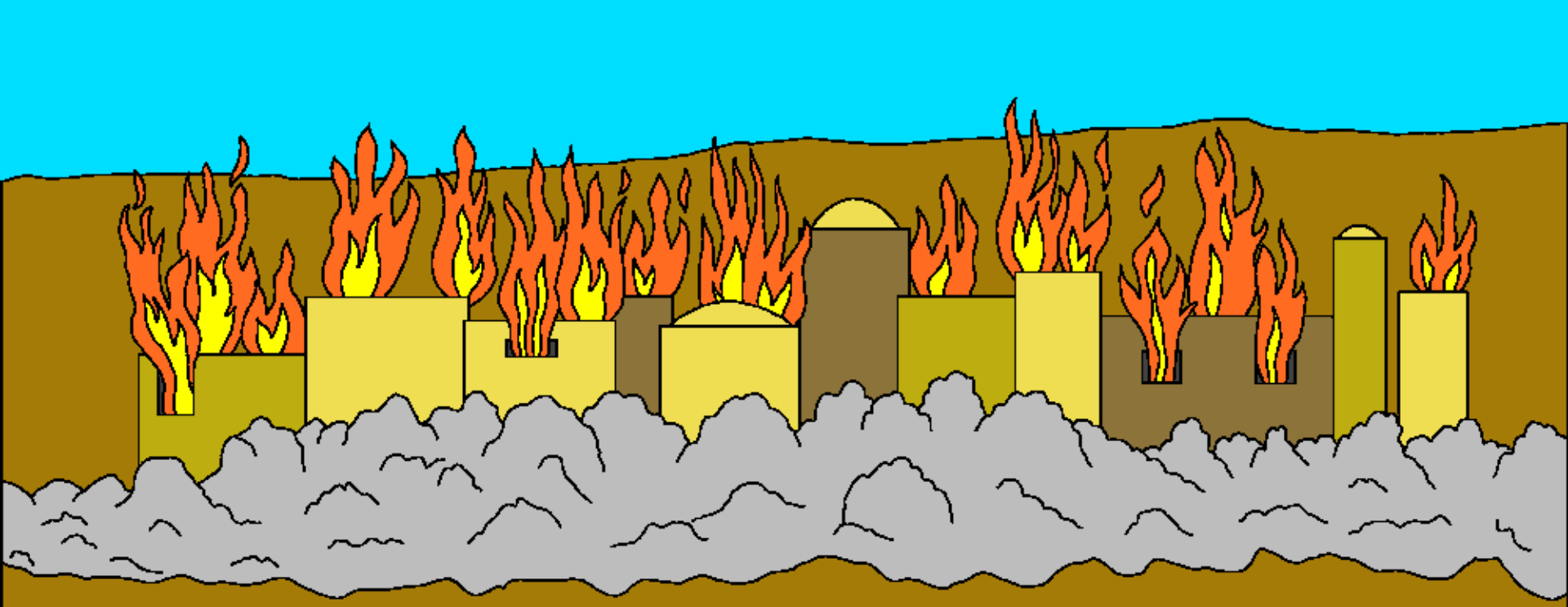






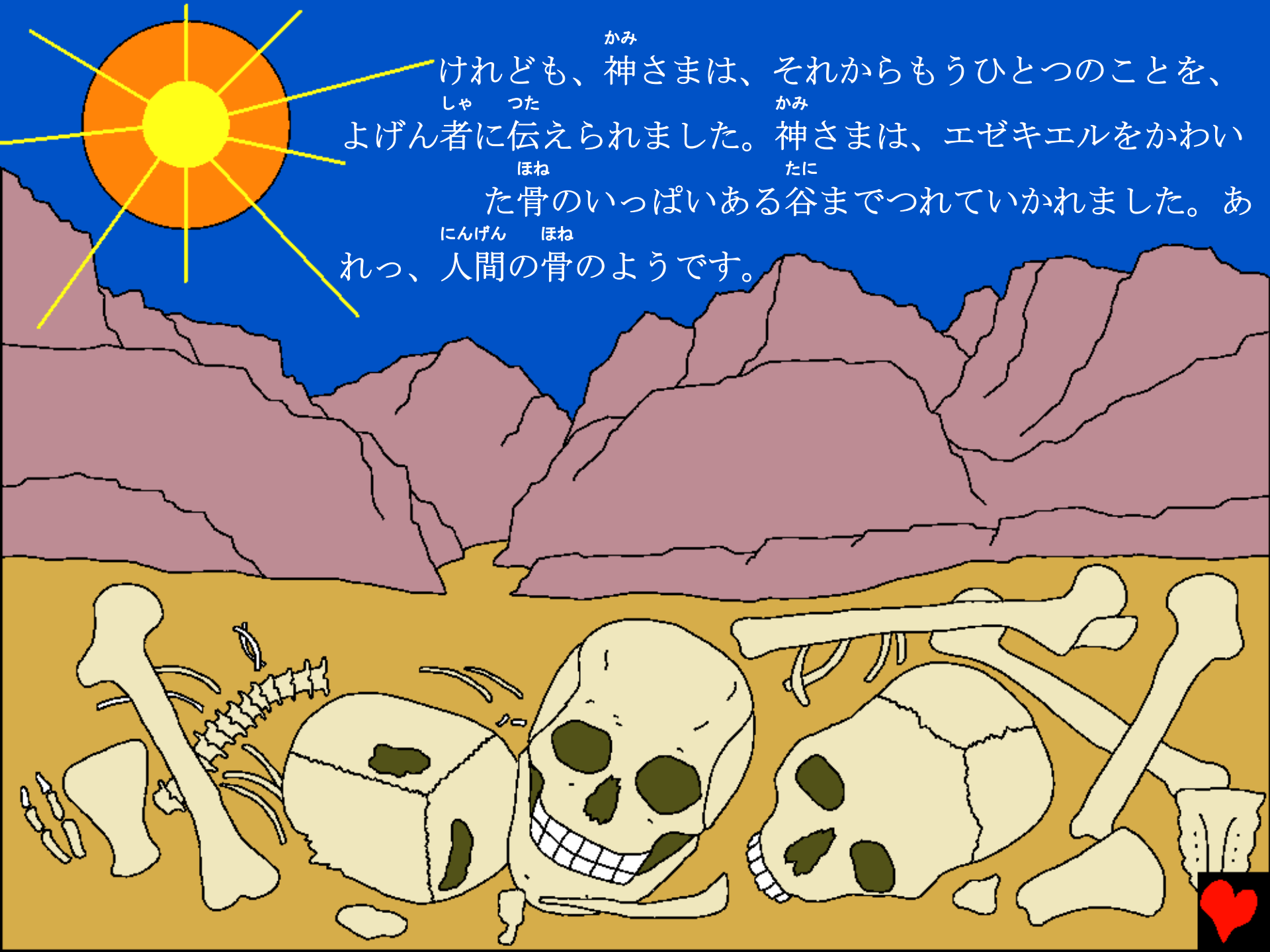
じつは、ここのしどう者たちは、神さまのかわりに、これらのものを礼拝していたのです。神さまは、つぎのことも伝えられました。「神さまの栄光は、この宮 でんを去ってしまい、ほろぼされてしまうだろう。」それから、まぼろしが、きえてしまいましたよ。エゼキエルは、このことをユダヤの人々に、はなしました。



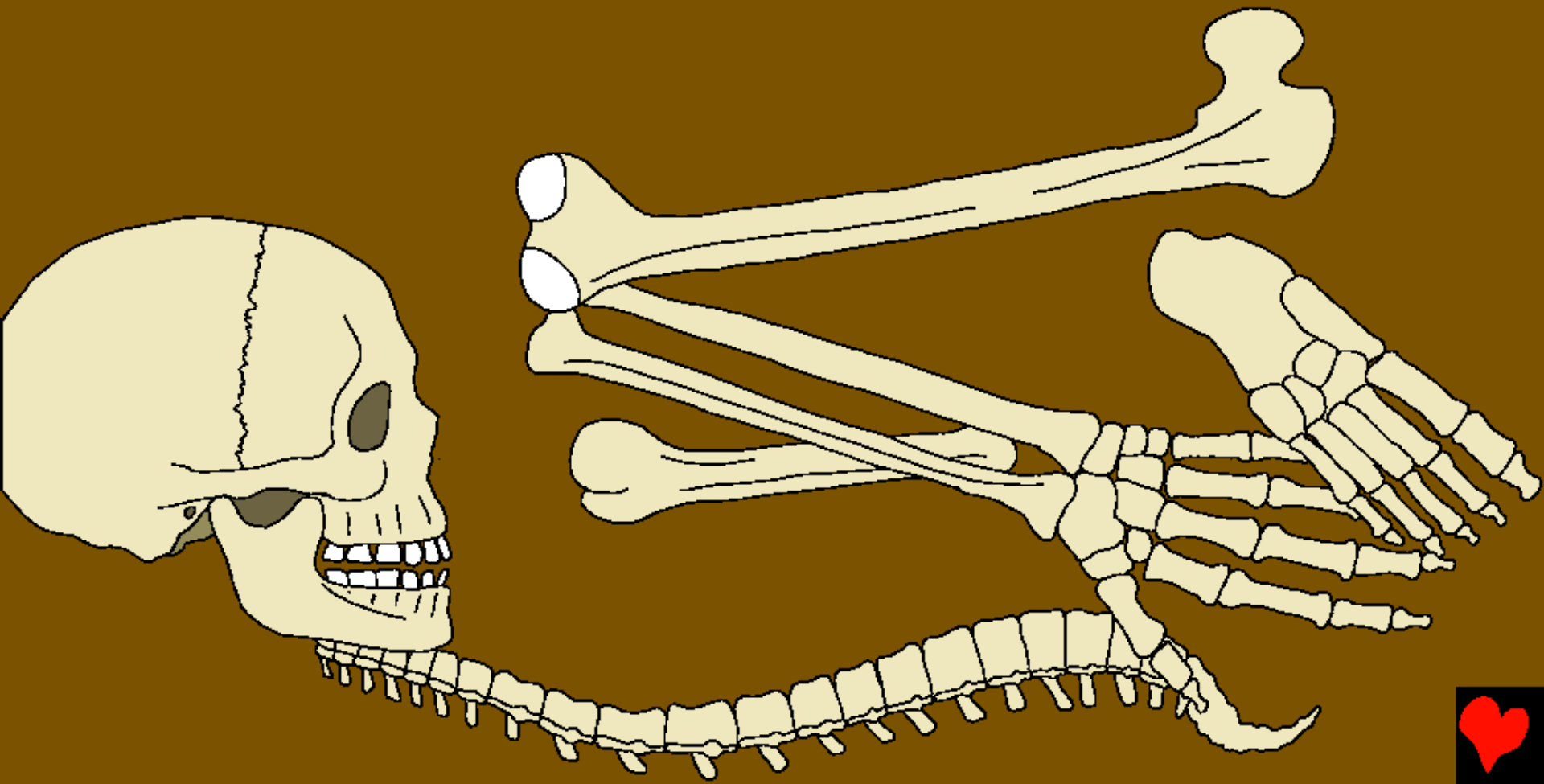


神さまが言われたことは、みんなそのとおりになりました。エルサレムは、ほろぼされてしまい、多くの人々は、ころされてしまったのです。バビロンで、とらわれ人となっているユダヤの人々は、それを聞いたとき思いました。ああ、神さまは、神さまの民を、すっかりあきらめられたのだろうか。もう、助けてくださらないのだろうか。

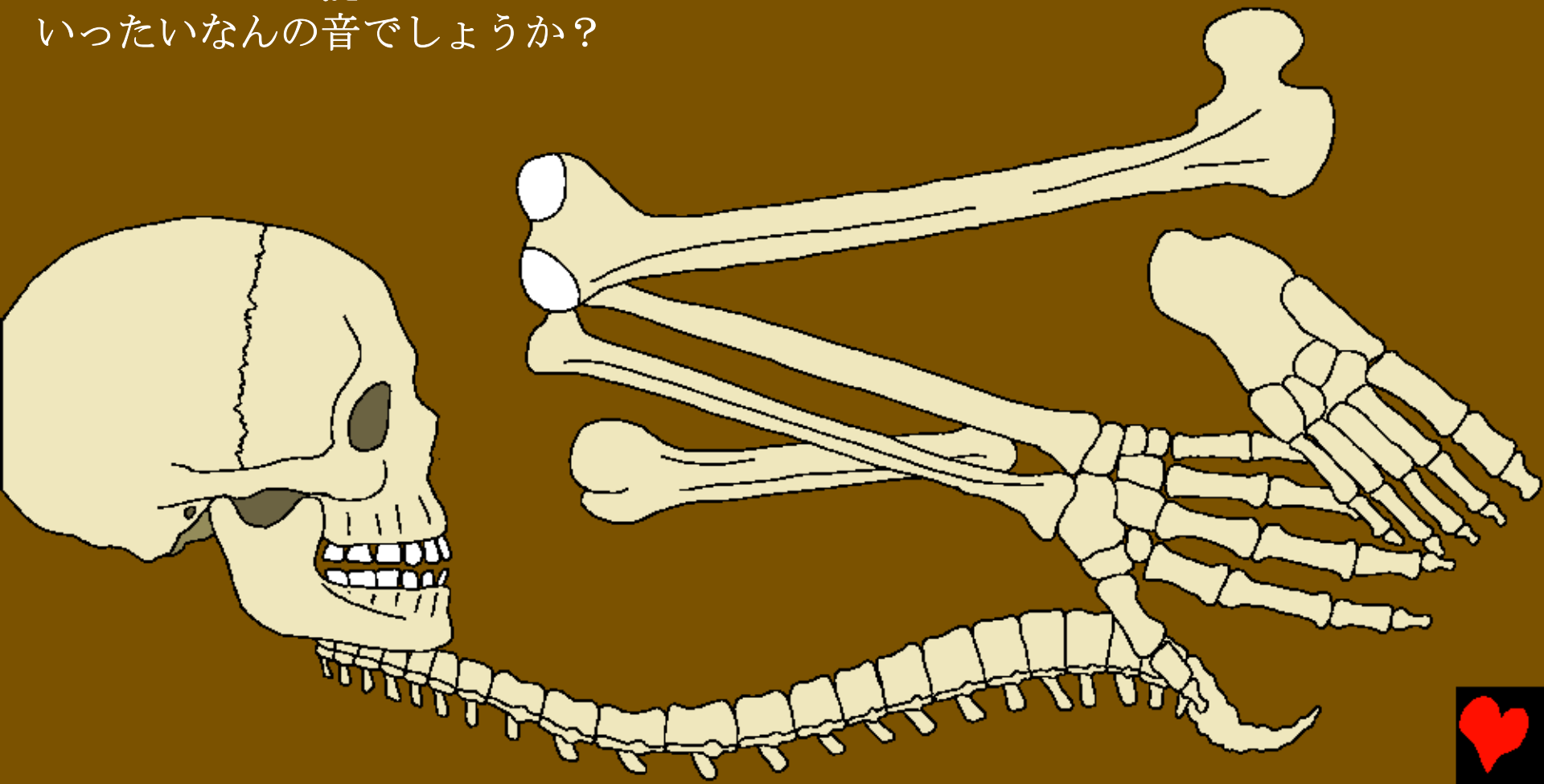
けれども、神(かみ)さまは、それからもうひとつのことを、よげん者(しゃ)に伝(つた)えられました。神(かみ)さまは、エゼキエルをかわいた骨(ほね)のいっぱいある谷(たに)までつれていかれました。あれっ、人間(にんげん)の骨(ほね)のようです。



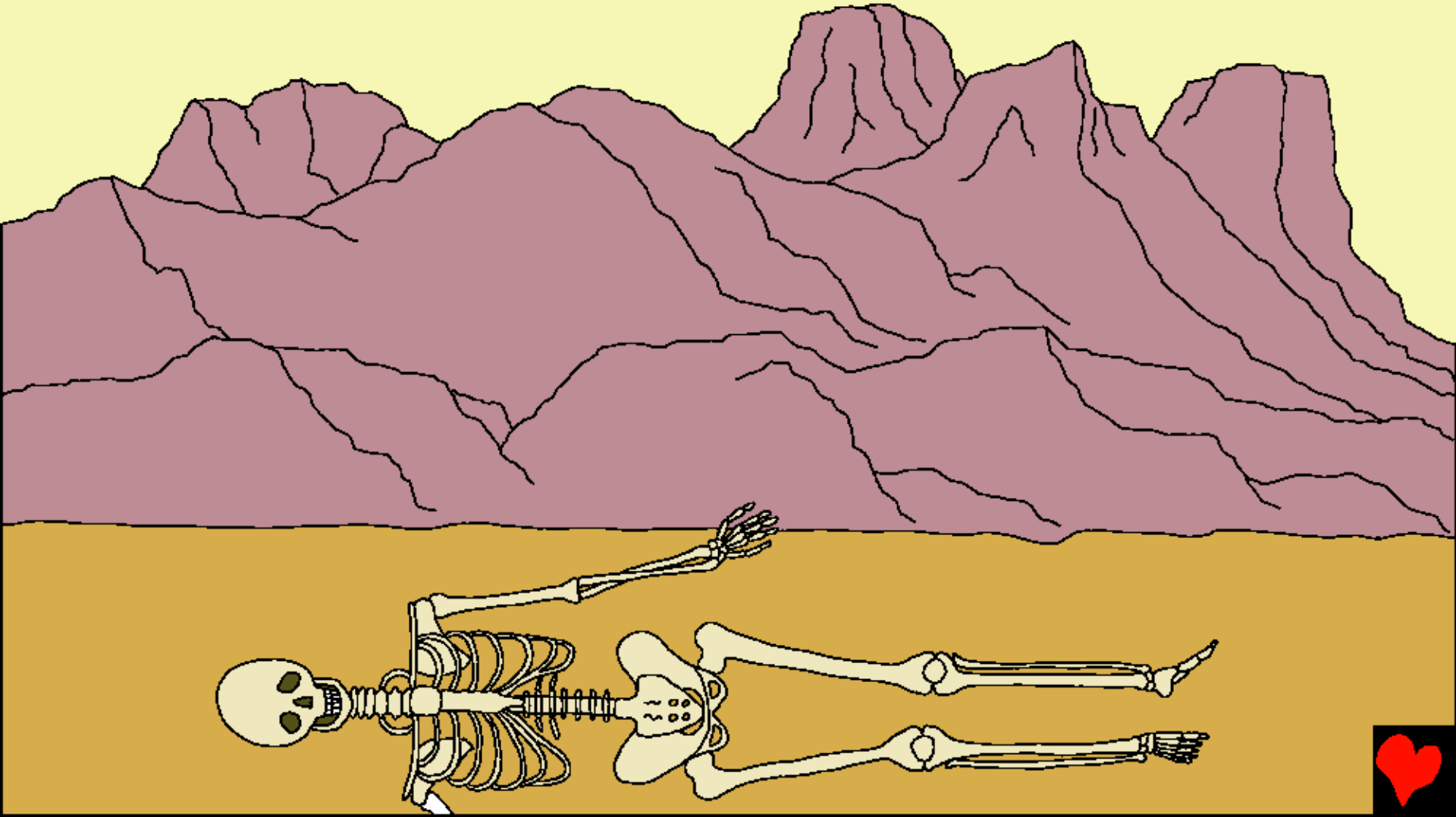
「人の子エゼキエルよ、これらの骨は、また生きかえることができるだろうか。」神さまは、エゼキエルにたずねられました。「ああ、主なる神さま、あなたは、なにもかも、わかっていらっしゃいます。」そう、もちろん、かわいた骨が、もういちど生きかえることなんかできませんね。



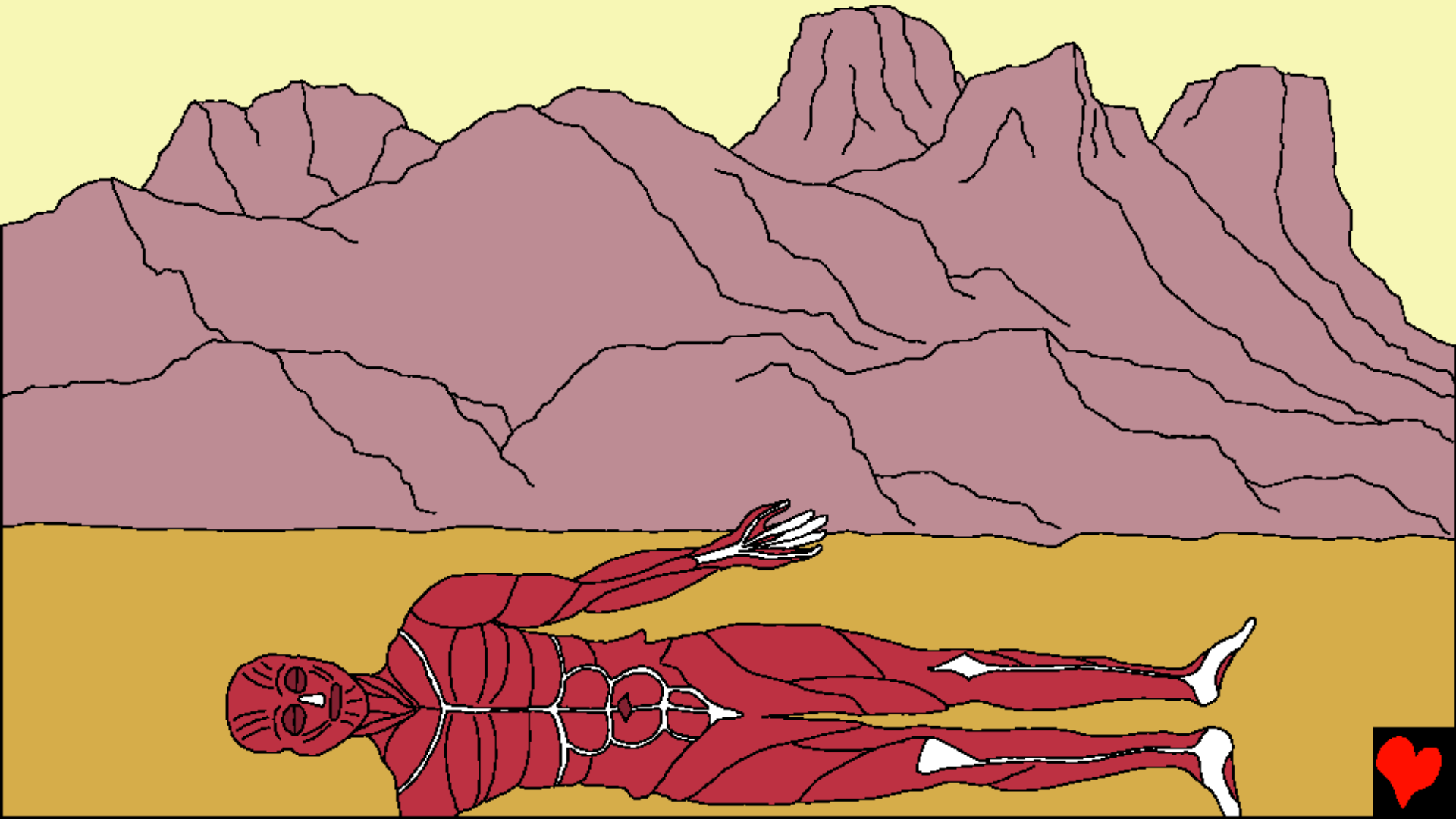
主は、言われました。「エゼキエル、これらの骨に、わたしのことばを伝えるのだよ。こう言いなさい。かわいた骨よ、主のことばを聞け！おまえたちは、生き返るだろう！」エゼキエルは、主の言われるとおりにしましたよ。すると、どこからでしょうか、カタカタっていう音が聞こえてきました。みなさん、それは、いったいなんの音でしょうか？



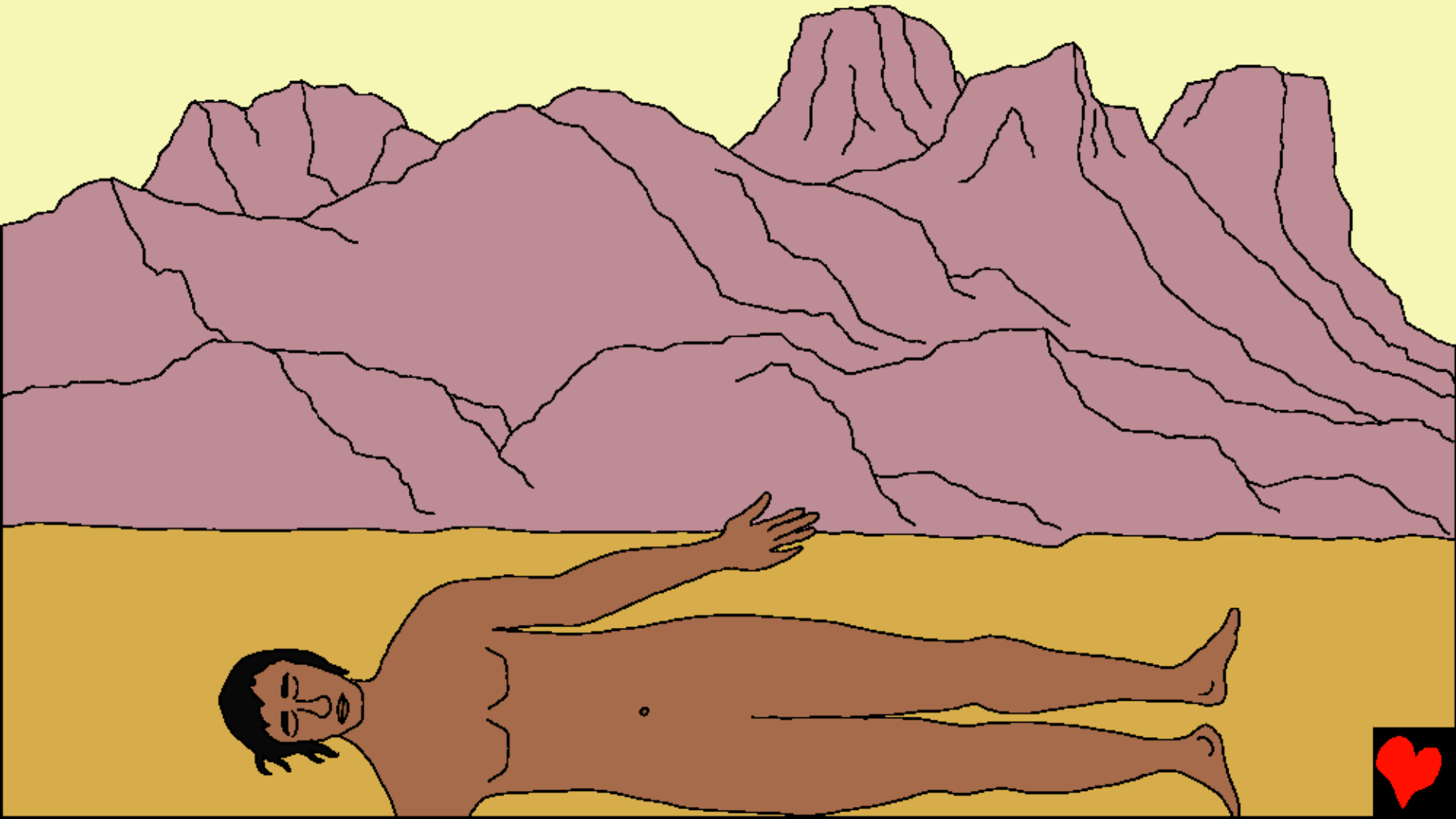
よげん者エゼキエルが、びっくりして見ていると、あれよ、あれよ、と言うまに、骨と骨がつながって、もとの人のかたちになっていきますよ。



それから、骨(ほね)に肉(にく)がつきました。

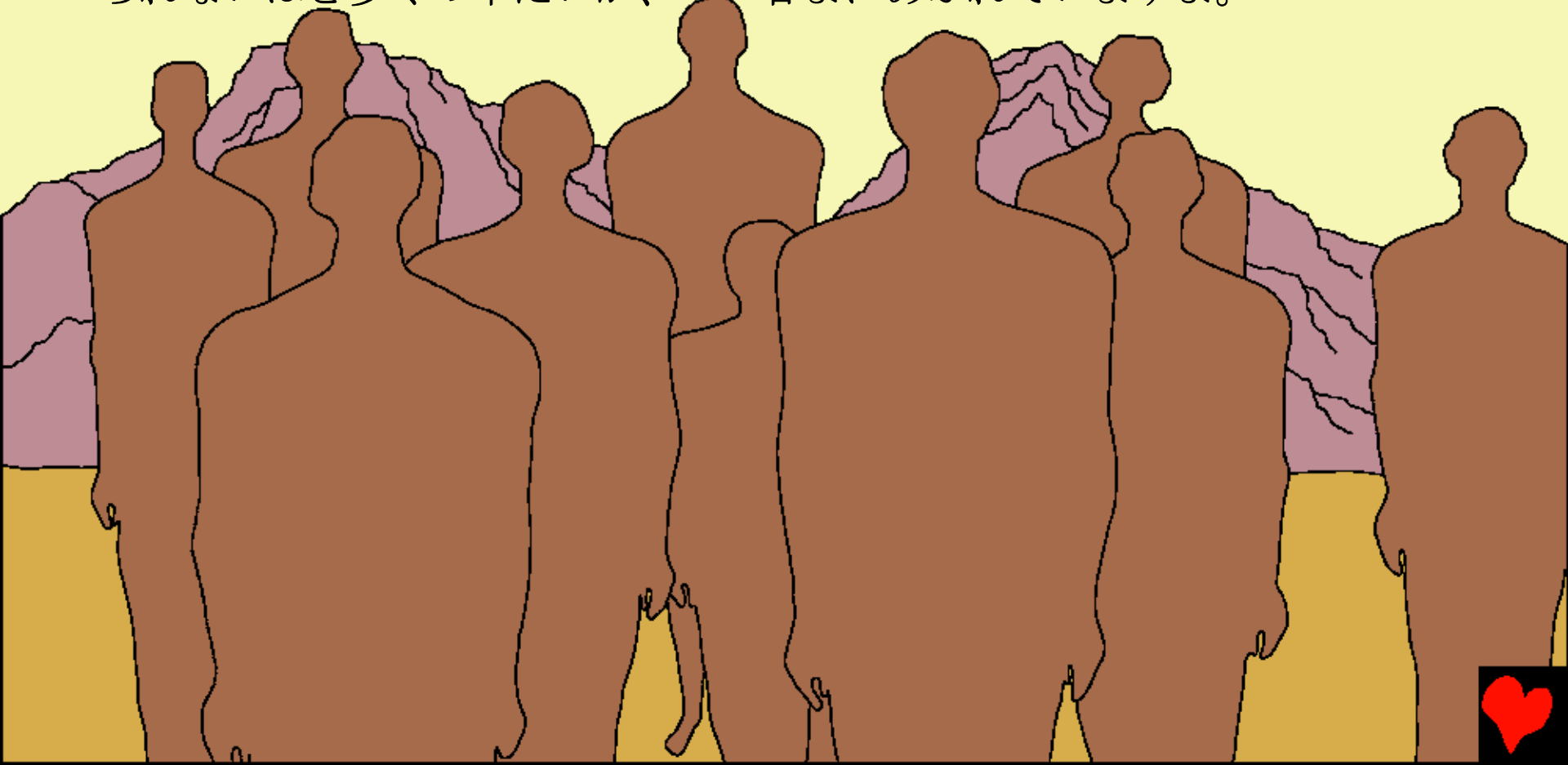


すると、こんどはその人(ひと)たちに、皮(ひ)ふがつけられました。でもね、かれらはまだ、息(いき)をしていませんね。

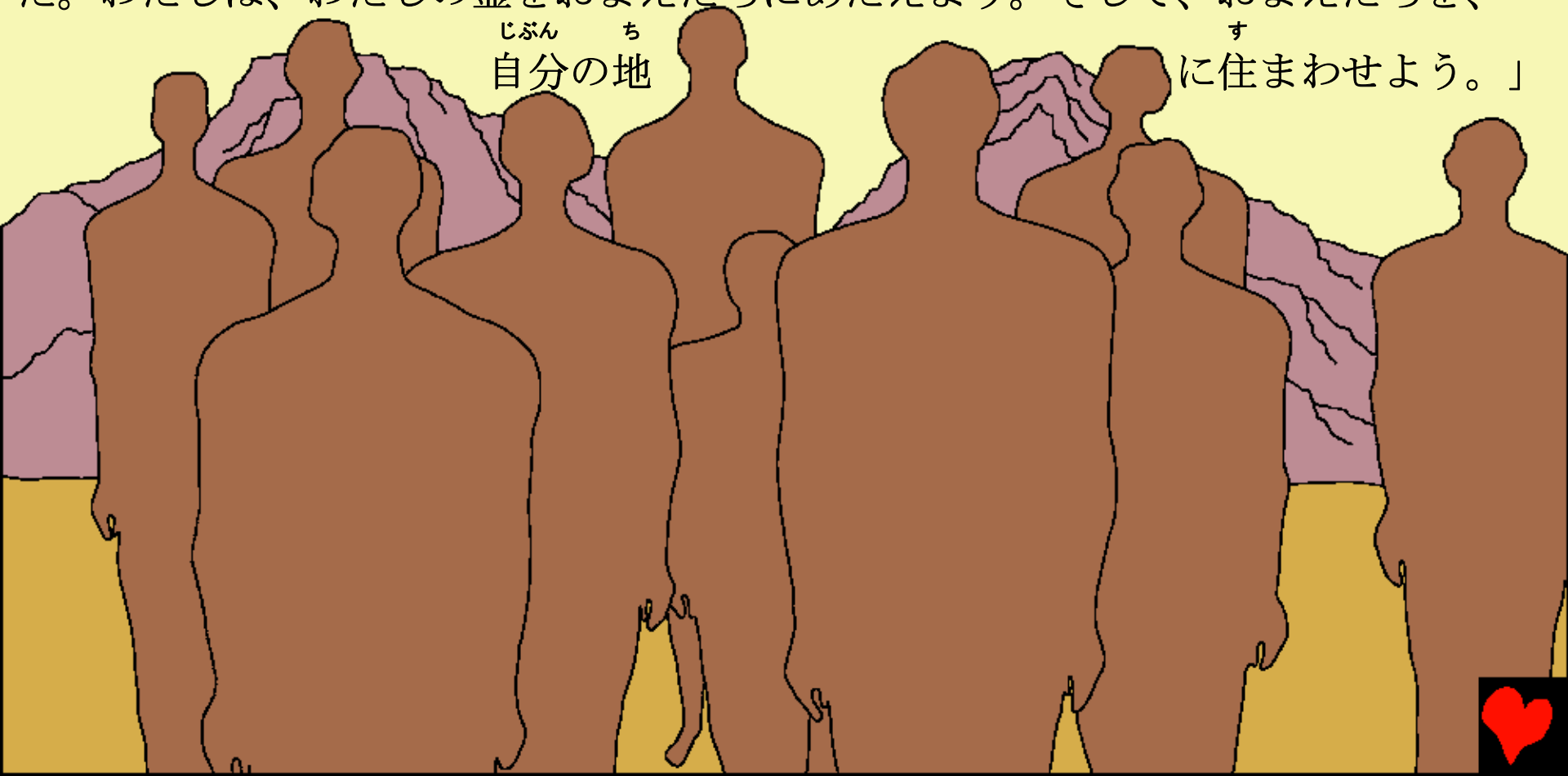


主は言われました。「人の子よ、こう言って神のことばを伝えるのだよ。息よ、四方から吹いてきておくれ！生きかえらせるように、吹きかけておくれ！」

エゼキエルがそのようにすると、どうでしょう。今まで死んでいた人たちが、息をし始めたのです。そして、自分たちの足で立ち上がりました。今や、かぞえられないほど多くの軍たいが、谷まにあふれていますよ。



神さまはね、よくわかっていらっしゃいました。エルサレムが、ほろぼされてしまったとき、バビロンでとらわれ人となっているユダヤの人々が、自分たちは、もう助からないんだって思っていることをね。そこで、エゼキエルに、まぼろしを見せられ、伝えられました。「これらの骨は、イスラエルのすべての民ぞくなのだ。わたしは、わたしの霊をおまえたちにあたえよう。そして、おまえたちを、自分の地に住まわせよう。」



なんてすばらしい神さまからのメッセージでしょう！エゼキエルに言われた神さまのやくそくは、ほんとうでしたね。とうとうユダヤの人々は、自分たちの地にもどることができたのですから。今、人々はよくわかりました。そう、主なる神が、みんなを家へつれてかえってくださったって。

まぼろしを見る人、エゼキエル

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

エゼキエル書

あなたの御ことばが開かれると、光 が与えられます。

詩篇 119:130

おわり

この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしってほしいと、
思っていらっしゃるのです。

神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しっていらっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

けれども、神さまは、あなたをとても愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみがえって、いま生きていらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書３：１６